

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : トリコン-L
 製品コード : SZトリコン
 供給者の会社名 : 日酸TANAKA株式会社
 住 所 : 埼玉県入間郡三芳町竹間沢11番地
 担当部門 : FA事業部 国内営業部
 連絡先(電話番号) : 049 (258) 4412
 緊急連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 : 急性毒性 (経口) ; 区分5
 皮膚腐食性/刺激性 ; 区分2
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 ; 区分2 A
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) ; 区分1 (中枢神経系)
 環境に対する有害性 : 水生環境有害性 (急性) ; 区分2

ラベル要素

絵表示又はシンボル : 健康有害性 感嘆符



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 皮膚刺激
 強い眼刺激
 臓器の障害 (中枢神経系)
 水生生物に毒性

注意書き

安全対策 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 応急措置 : ばく露又はばく露の懸念がある場合は医師に連絡すること。
 特別な処置が必要である。
 保管 : 施錠して保管すること。
 廃棄 : 内容物/容器は国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 :

A 572211

成分名	含有率 (%)	官報公示整理番号	PRTR	CAS No.	安衛法
高分子分散剤	非開示	—	非該当	非開示	非該当
有機窒素系銅防食剤	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当
有機窒素硫黄系殺菌剤	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当
有機臭素系殺菌剤	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素または散水を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 利用可能な情報はない。
- 特定の危険有害性 : 火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 消火活動は有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニタ一付きノズルを用いて消火する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 保護具（空気式呼吸器、化学用保護衣）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として立入禁止とする。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
密閉された場所は換気する。
- 環境に対する注意事項
回収、中和 : 環境中に放出してはならない。
漏洩液は空容器に回収する。
水を加えて希薄な溶液とし、弱アルカリ（炭酸ナトリウム等）で中和した後、多量の水で洗い流す。
漏洩した場所は多量の水で洗い流す。
- 封じ込め及び浄化の方法
及び機材 : 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策 : 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : この製品の保管及び開封、使用、廃棄までは安全データシート(SDS)を熟読し、かつ内容を良く理解した責任者が行うこと。
空調用水処理以外の用途には使用しないこと。
- 安全取扱注意事項 : 化学物質には未知の有害性が潜んでいる可能性があるため、取扱い時に

は保護具を着用するなどの十分な注意が必要である。

保管

- 適切な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い冷暗所で保管すること。
炎及び熱表面から離して保管すること。
塩基または還元剤から離して保管する。
- 容器包装材料 : 推奨 ; 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。例えばポリエチレン、ポリプロピレン、テフロン等
: 不適切 ; アルミニウム、チタン、亜鉛、スズおよびそれらの合金、クロム等の金属類

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定値なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 設定値なし
: ACGIH ; 設定値なし
- 設備対策 : 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設置する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 呼吸用保護具
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 安全眼鏡、顔面シールド
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など : 淡黄色透明液体
- 臭い : 微特異臭
- pH : 原液 pH 約1、1% pH 約3
- 融点・凝固点 : -10°C以下
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 引火点 : データはないが、通常の使用状態では不燃性である
- 爆発範囲 : データはないが、通常の使用状態では爆発性はないと考えられる
- 蒸気圧 : データなし
- 比重(密度) : 約1.1±0.05 (25°C)
- 溶解度 : 水によく溶ける
- n-オクタノール/水分分配係数 : データなし
- 自然発火温度 : データはないが、通常の使用状態では自然発火しないと考えられる
- 分解温度 : データなし
- 臭いのしきい値 : データなし
- 蒸発速度 : データなし
- 燃焼性(固体、ガス) : 液体のため対象外
- 蒸気密度 : データなし
- 粘度 : データなし
- その他のデータ : 全窒素 約2% (重量)
全リン 約0.2% (重量)
化学的酸素要求量 (COD_{Mn}) 約4% (重量)

10. 安全性及び反応性

- 安定性 : 推奨する保管条件化では安定である。
- 危険有害反応可能性 : 塩基や還元剤との混触により発熱することがある。
- 避けるべき条件 : 熱、日光から離すこと。
- 混触危険物質 : 塩基、還元剤

危険有害な分解生成物 : 強熱により一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩素ガスを発生する。

11. 有害性情報

本節及び一部次節の情報は、GHS混合物分類判定プログラム（経済産業省 2007/03）による計算評価分類に基いたものであり、本製品に対する調査データや含有薬品間での相互作用を考慮した評価分類ではありません。従って、次のデータは、本製品の評価分類値を正しく示すものではない可能性があります。

急性毒性	:	区分5 (経口)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	区分2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	データなし
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	:	区分1 (中枢神経系)
特定標的臓器毒性、反復ばく露	:	データなし
吸引性呼吸器有害性	:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	:	区分2 (急性)
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし
重金属	:	鉛 データなし
		カドミウム データなし
		総水銀 データなし
		総クロム データなし
		ヒ素 データなし
		シアン データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 産業廃棄物処理業者に委託して処理する。(廃酸) 窒素規制のある地域では脱窒素処理が必要である。 リン規制のある地域では脱リン処理が必要である。
汚染容器及び包装	:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制		
海上規制情報	:	IMOの規定に従う
UN No.	:	3265
Proper Shipping Name	:	CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, ORGANIC, N.O.S.
Class	:	8
Sub Risk	:	—
Packing Group	:	II, III
Marine Pollutant	:	該当 適用法令参照
航空規制情報	:	ICAO/IATAの規定に従う
国内規制		

陸上規制情報	:	非該当
海上規制情報	:	該当 適用法令参照
国連分類番号	:	3265
品名	:	その他の腐食性液体、酸性、有機物、n.o.s.
クラス	:	8
副次危険	:	—
容器等級	:	II, III
海洋汚染物質	:	該当 適用法令参照
航空規制情報	:	該当 適用法令参照
緊急時応急措置指針番号	:	153

15. 適用法令

P R T R法	:	非該当
消防法	:	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
労働安全衛生法	:	非該当
道路法	:	非該当
化審法	:	非該当

16. その他の情報

引用文献	:	化学品別適用法規総覧	化学工業日報社	2008/03
		16817の化学商品	化学工業日報社	2017/01
参考文献	:	緊急時応急措置指針	日本規格協会	2006/08
		化学品の分類および表示に関する世界調和システム	GHS関係省庁連絡会議	2006/08
		化学物質等安全データシート	厚生労働省 安全衛生情報センター	
		化審法データベース	厚生労働省、経済産業省、環境省	
		化学物質総合情報提供システム	(独)製品評価技術基盤機構	
		GHS混合物分類判定プログラム	経済産業省	2007/03
		危険物輸送に関する勧告第17改訂版	国際連合	2011

※ 記載内容の取扱いについて

記載内容のほとんどは、現時点で入手できる第三者の資料・情報・データや弊社の情報に基づいて作成したものです。個々の項目に対し厳密な条件設定のもとに試験等を行い、内容を確認したものではありません。また、SDSは、必ずしも全ての情報を網羅しているわけではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。注意事項は、通常取扱いを対象としたものです。使用時には使用者の判断において、適正に使用して下さい。この記載内容は情報の提供であり、いかなる保証もなすものでもありません。また、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。